

1 目標

幼児児童生徒一人一人に確かな学力などの生きる力をはぐくむ。

2 基本方針

- (1) 全職員で取り組む体制を確立し、実効性のある実践を推進する。
- (2) 各学年で身につけるべき内容を確実に定着させる取り組みの充実を図る。
- (3) 授業の基盤となる支持的風土をつくる学級経営を行う。
- (4) 学校・家庭・地域の連携協力を図りながら推進する。

3 学力向上の具体的取組

(1) 子ども主体の学び合い高め合う授業づくり

①基礎的・基本的な知識・技能の習得

○朝自習15分間の充実

- ・月曜日、朝の読書の実施する。
- ・木曜日、朝会のない日；ドリル（計算など）
- ・金曜日、漢字の練習
- ・日々の授業実践、その他の活動にて前学年または当該学年の内容の定着をはかる。

○日常の取り組み

- ・日々の授業改善に取り組み、学びに向かうことのできる児童の育成に努める。

○学力向上月間の取組（5・11・1・2・3月）

- ・日々の授業改善の取組によつて、学力向上に向けての実践とする。
- ・児童の実態を考慮し、空き時間等を利用して適切な指導を行う。（フリー職員が応援）

②思考力・判断力・表現力の育成

国語

- 低学年 随時音読を取り入れ、はっきりした発音ですらすら読めるようにする。ひらがな・カタカナ・漢字が正しい筆順で習得できるように、個別指導を多く取り入れ定着を図る。
- 中学年 読むこと書くことを関連させた授業を行い、教材文をすらすら読めるように家庭と連携して行う。作文指導・辞書の活用を通して言語・表現の工夫を指導する。ドリル・豆テスト等で、漢字の定着を図る。
- 高学年 重要語句・キーワードに気をつけて文章の組み立てを考え、書かれていることを読み取るとともに、要旨をとらえることができるようにする。辞書を活用し言語事項の定着を図り、日記や作文などで書く力を育てる。随時音読を取り入れ教材文に多く触れさせる。

算数

- 低学年 具体物・半具体物を用いた操作活動を多く取り入れ、意味理解が確実にできるようにする。反復練習・ドリル学習で定着を図るようにする。
- 中学年 導入場面を工夫し、答えの見通しを持って計算させる。文章題で、分かっていることを整理し、何を求めているかを読み取らせる。ドリル学習・学びのたしかめ等の活用により、基礎基本の定着を図る。
- 高学年 半具体物を使って、操作活動を通して意味理解を深めさせるとともに、形成評価を随時行い、ドリル学習で定着を図る。
- 算数ノートの形式を、全校統一して実施する。

③主体的な学習に取り組む態度の育成

- 一事徹底「時間のけじめをつけること」授業・集会の開始に時間を意識させる（黙想の実施）
- 一人一授業の実施
 - ・教師間の授業参観、リフレクションを実施する。
- 授業の工夫・改善
 - ・コンピュータ・電子黒板・視聴覚機器を効果的に活用する。
 - ・学校図書館を効果的に活用する。

○読書活動の充実

- ・保護者、地域ボランティアの方による読み聞かせ（毎週火曜日）
- ・図書委員会による1年生への読み聞かせ
- ・読書月間中における職員の読み聞かせ
- ・朝の「読書タイム」
- ・くろしお号の活用・学級文庫・音読指導の工夫

④学習を支える力の育成

○基本的な学習態度の確立

- ・学習の5つの約束の掲示
- ・授業開始時の30秒黙想の実施
- ・学習用具の準備・片付け

○話し方・聞き方の訓練（授業・集会・朝の会・帰りの会等）

○学習習慣の確立

○授業と連動した家庭学習

- ・家庭学習の習慣化の形成
- ・家庭学習手引きの配布
- ・各学期で表彰

（2）認め合い励まし合う支持的風土の学級づくり（豊かな心の育成を図る取組）

①人間関係づくりの力をはぐくむ取組の充実

○体験活動・人材活用の充実

- ・日曜授業参観と併せて、児童・親・教師・地域の方との交流を図るために、1学期1年生を迎える会の参観、2学期親子昔遊び交流会・バザー等の実施。
- ・みなみの里交流 5年生がみなみの里を訪ねての交流会の実施と、運動会・学習発表会にはみなみの里の皆さんを招待しての交流の実施。
- ・AETの先生方との交流会の実施。
- ・修学旅行における、PA体験の実施。

○iチェック・教育相談の実施

- ・年2回（iチェックは1回）計画的に実施し、特別な支援を要する児童への指導の充実を図る。

○学級経営・学習指導に関する研修の実施

○学校創立記念週間の取組

学校創立記念日（9月28日）を挟んで前後1週間を創立記念週間とし、校長講話にて創立を祝い、伝統の良さに気づく週間の実施。（学校の歴史、先人たちの栄冠・偉業に触れ、良き伝統を継承し創造していこうとする意欲や態度を育む）

- 必要に応じて下記の内容についても取り組むことができる。

<取組内容例>

	地域教材を扱う授業実践（例）		伝統に触れる 清掃・美化活動
	授業教材（題材）	学習内容	
1年	地域民話 「さらげーおばけ」	地域民話に親しむ 自然愛護・質素儉約	裏山の清掃
2年	「さくまやばー」 裏山自然観察路	地域民話に親しむ 自然観察路の由来	裏山の池周辺の清掃
3年	「校庭の大きな木」	校庭の大きな木を通して地 域の人々の願いに触れる	校庭の大きな木周辺の清掃
4年	「大城ハル先生顕彰の碑」	地域先人に学ぶ	顕彰碑やその周辺の清掃
5年	「マラソン像」が教える もの	「伝統のマラソン」の意義 を知る	トロフィー棚・マラソン像磨き
6年	「少年少女の像」	米須小の伝統を総括しよう	少年少女の像・各種賞状額清掃

②自己の将来や生き方を考える指導の充実

- キャリア教育 各学年、自己及び他者への積極的な関わりを通して、身の回りの仕事や環境への感心意欲を向上させる。

(3) 地域とともにある学校づくり

① 学校支援ボランティアの活用

○ 平和教育における講師依頼

慰霊の日に向けて、地域の方をお呼びして戦争・平和についてお話をしてもらう会の実施。

○ 職場体験（6年生）の協力依頼

② 地域・家庭と連携した生活リズムの確立

○ ラジオ体操の実施（夏休み）

夏休みの期間中、早寝早起き、活動する運動の奨励する。

○ 百マス計算の実施（夏休み）

P T Aの家庭教育委員会で、百マス計算ファイルを作成し家庭に配布、夏み明け表彰実施。

③ 規範意識マナーの育成

○ 生活目標との連動

○ 5つのいっぱい運動の強化

（笑顔・花・読書・あいさつ・汗）

○ 米須小学校スタンダードの意識付け

○ 道徳の授業で深化